

八潮市庁舎建設基本構想策定に係る ワークショップの結果

まず、学生から事例を紹介し意見交換した後に、「今日と将来の市の課題」、「八潮市の財産・大切にすべきもの」をディスカッションした上で、「市の行政の場」「市民の協働の拠点」「市民の活動の場」などの「機能」を提示し、機能を充足するための空間を考えていくという流れで実施しました。

目的	<ul style="list-style-type: none"> • シビックセンターの活性化のために、「新しい庁舎」、「シビックセンターのありかた」を市民と共に検討することを目的とする。特に市民目線、利用者目線から、以下の項目について検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ①建物のあり方:開かれた施設がよい、広場があったほうがよい 等 ➤ ②機能・サービスのあり方:カフェなどがあるとよい、子ども向けのサービスがあるとよい 等 ➤ ③市民の関わり方:景観維持に関われる、イベント開催に協力できる 等
日時・場所	<ul style="list-style-type: none"> • 7月30日(日)18時から21時まで 八潮メセナ 集会室で開催
内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 挨拶、市庁舎建替えについて、ワークショップの趣旨説明 ② スタッフ紹介、自己紹介、ワークショップの全体内容説明 ③ 学生からの事例紹介(川口市庁舎、豊島区役所、アオーレ長岡)、事例に対する意見交換、全体での共有 ④ 八潮にふさわしい場所とは、八潮の課題、課題を解決するにはどんな場所、空間、仕掛けがあればよいか。全体での共有 ⑤ まとめ、挨拶
参加者	<ul style="list-style-type: none"> • 市民公募 • 参加協力団体(町会自治会、PTA等)
協力	<ul style="list-style-type: none"> • 東京電機大学 山田 あすか先生(八潮市庁舎建設基本構想策定審議会委員) • 東京電機大学 松永 英伸先生 • 東京電機大学の学生の皆さん

ワークショップ当日は100名近い人が集まり、9グループに分かれ、にぎやかなワークショップとなりました。

ワークショップの様子



事例及び八潮に関してワークショップで出た主なキーワードは子ども・子育て、高齢者、若い世代、障がい者、利便性、地域交流、防災・耐震、イベント、ボランティア、環境共生、プライバシー、財政・費用、商業、歴史・文化、シンボル等、以下のとおりです。

大分類	小分類	主なキーワード	主な意見
コト (目的、 理念、 印象)	①市民の利便性が 高く、共生・協働の場 となる庁舎	子ども(26)、子育て(17)、高齢者(12)、若い世代(2)、障がい者(2)、利便性(26)、アクセス(10)、気軽に訪れられる(8)、市民優先(6)	<ul style="list-style-type: none"> お年寄りと子どもに優しいと嬉しい 市役所の機能を考えて市の真ん中に
	②まちづくりや災害 時の拠点となる、安 全・安心な庁舎	みんなが集まれる(20)、地域交流(11)、地域力(4)、連携(9)、人口(6)、活性化(5)、親しみ(5)、防災(59)、耐震(12)、機能(21)、教育(7)、施設利用(7)、イベント(7)、情報(7)、多目的(3)	<ul style="list-style-type: none"> 水害など災害に強い庁舎が必要 いろいろな機能が集まった多機能な庁舎
	③機能的で働きやす く、環境にやさしい庁 舎	環境共生・自然(37)、規模(16)、管理(9)	<ul style="list-style-type: none"> 風の通りがよく、自然をとりいれる
	④将来の変化に柔 軟に対応できる庁舎	財政・費用(29)、民間(4)、企業(7)、広い建物(4)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング費用の提言 運営に民間活力を導入する(PFI)
	⑤八潮らしさが感じら れる庁舎	歴史(6)、文化(7)、シンボル(4)、デザイン(4)、魅力的(4)	<ul style="list-style-type: none"> 八潮らしいスケール感
モノ (具 体的な 空間 や建 築)	複合化・機能	図書館(11)、児童館(10)、公園(9)、商業施設(9)、飲食店(8)、アリーナ(11)、医療施設(7)、テナント(6)、警察署・交番(5)、事務所(5)、高齢者施設(4)、防災センター(4)、避難所(3)、住宅(4)、美術館・展示(3)、防災備蓄(3)、ヘリポート(3)	<ul style="list-style-type: none"> 本があって、学習、カフェスペースがあるとよい 日常、災害時にあつまれるアリーナ
	空間	広場(20)、交流スペース(18)、多目的スペース(18)、フリースペース(4)、駐車場(15)、ホール(12)、キッズスペース(6)、屋上庭園(8)	<ul style="list-style-type: none"> 24時間使える屋根付き広場
	立地	場所(25)、駅(21)、分散(8)、街の中心(8)	<ul style="list-style-type: none"> 現位置に建替え 駅に近いことは便利
	あり方	バリアフリー(7)、建物規模(6)、木を使った(5)、動線(4)、ランドマーク(3)	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化のためバリアフリーは必須

※括弧内は意見の数

【参考】 ワークショップ終了後の意見

- ①新庁舎建替えに関して、予算に応じてお願いします。
- ②八潮市が埼玉の防災の拠点になればいいと考えます。（屋上に防災ヘリ、下に病院、収入源としてテナントを入れる、庁舎周辺は商店、食堂、銀行、マンションが増えればにぎやかになる。）
- ③庁舎は、八潮にあったものにしていただければいいと思います。（水害と防災、駐車場があったらいい）
- ④お年寄りや子どもが自力で動ける機能があればありがたい。
- ⑤市役所の方と市民が気軽に相談し、意見を交わしあい、活性化になるといい。
- ⑥地元の方と新しい住民との交流を持ち、新しい八潮の発展があると夢や希望が持てる。
- ⑦子から老人まで一緒に過ごせる空間はほしい。
- ⑧今後の市役所は複合施設は欠くことはできない。今の用地では狭いのでは。
- ⑨市庁舎が中心となることにより「色々な情報がもらえる」という所になればよい。
- ⑩今ある施設も大切にすべき。場所は、今のところが良いと思う。複合化によって大きくすれば良いとは思わない。